



BEA

WebLogic Server

WebLogic Tuxedo Connector クイック スタート ガイド

BEA WebLogic Server バージョン 6.1
マニュアルの日付 : 2003 年 4 月 24 日

著作権

Copyright © 2002 BEA Systems, Inc. All Rights Reserved.

限定的権利条項

本ソフトウェアおよびマニュアルは、BEA Systems, Inc. 又は日本ビー・イー・エー・システムズ株式会社（以下、「BEA」といいます）の使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができ、同契約の条項通りにのみ使用またはコピーすることができます。同契約で明示的に許可されている以外の方法で同ソフトウェアをコピーすることは法律に違反します。このマニュアルの一部または全部を、BEA からの書面による事前の同意なしに、複写、複製、翻訳、あるいはいかなる電子媒体または機械可読形式への変換も行うことはできません。

米国政府による使用、複製もしくは開示は、BEA の使用許諾契約、および FAR 52.227-19 の「Commercial Computer Software-Restricted Rights」条項のサブパラグラフ (c)(1)、DFARS 252.227-7013 の「Rights in Technical Data and Computer Software」条項のサブパラグラフ (c)(1)(ii)、NASA FAR 補遺 16-52.227-86 の「Commercial Computer Software--Licensing」条項のサブパラグラフ (d)、もしくはそれらと同等の条項で定める制限の対象となります。

このマニュアルに記載されている内容は予告なく変更されることがあり、また BEA による責務を意味するものではありません。本ソフトウェアおよびマニュアルは「現状のまま」提供され、商品性や特定用途への適合性を始めとする（ただし、これらには限定されない）いかなる種類の保証も与えません。さらに、BEA は、正当性、正確さ、信頼性などについて、本ソフトウェアまたはマニュアルの使用もしくは使用結果に関していかなる確約、保証、あるいは表明も行いません。

商標または登録商標

BEA、Jolt、Tuxedo、および WebLogic は BEA Systems, Inc. の登録商標です。BEA Builder、BEA Campaign Manager for WebLogic、BEA eLink、BEA Manager、BEA WebLogic Collaborate、BEA WebLogic Commerce Server、BEA WebLogic E-Business Platform、BEA WebLogic Enterprise、BEA WebLogic Integration、BEA WebLogic Personalization Server、BEA WebLogic Process Integrator、BEA WebLogic Server、E-Business Control Center、How Business Becomes E-Business、Liquid Data、Operating System for the Internet、および Portal FrameWork は、BEA Systems, Inc. の商標です。

その他の商標はすべて、関係各社がその権利を有します。

BEA WebLogic Tuxedo Connector クイック スタート ガイド

マニュアルの日付	ソフトウェアのバージョン
2002 年 6 月 24 日	BEA WebLogic Server 6.1

目次

1. WebLogic Tuxedo コネクタ クイック スタート ガイド

WebLogic Tuxedo コネクタのコンフィグレーション	1-1
---------------------------------------	-----



1 WebLogic Tuxedo コネクタ クイック スタート ガイド

WebLogic Tuxedo コネクタは、WebLogic Server アプリケーションと Tuxedo サービスの相互運用を可能にします。以下に示す指示では、WebLogic Tuxedo コネクタをコンフィグレーションして、WebLogic Server リリース 6.1 と Tuxedo リリース 6.5 以降の相互運用を可能にする主要な手順について説明します。

注意： WebLogic Server リリース 6.1 での WebLogic Tuxedo コネクタをコンフィグレーションする方法の詳細については、『[WebLogic Tuxedo コネクタ プログラマーズ ガイド](#)』を参照してください。

WebLogic Tuxedo コネクタのコンフィグレーション

この節では、NT/2000 プラットフォームにおける WebLogic Tuxedo コネクタのコンフィグレーションの方法について説明します。

注意： UNIX ユーザの場合は、「\」を「/」に置き換えて、適切に代替してください。

1. WebLogic Server リリース 6.1 配布キットに含まれている WebLogic Tuxedo コネクタのサンプルの 1 つから `bdmconfig.xml` ファイルをコピーして、WebLogic Tuxedo コネクタの XML コンフィグレーション ファイルを作成します。

```
.\examples\simpapp\bdmconfig.xml を  
.\config\mydomain\your_configuration_file.xml にコピーします。
```

2. アプリケーションの環境に合うように、NWADDR の更新を含め、`bdmconfig.xml` ファイルを編集します。Tuxedo 6.5 ユーザは、Interoperate 要素を追加し、その要素を **Yes** に設定します。
3. `your_configuration_file.xml` ファイルへの変更を保存します。
4. XML コンフィグレーション ファイルの有効性を検証します。
> `java weblogic.wtc.gwt.WTCValidateCF your_XML_configuration_file`
5. ドメイン環境を更新します。
> `.\config\mydomain\setEnv.cmd`
6. デフォルト サーバを起動します。
> `.\config\mydomain\startWebLogic.cmd`
7. Administration Console を起動します。
8. 必要に応じて、ドメイン ルートを右クリックし、[**他のドメインの作成または編集**] を選択します。左クリックして、リポジトリから **mydomain** を選択します。
9. 左クリックして、[**デプロイメント**] ブランチを展開します。
10. [**起動と停止**] ブランチを右クリックします。
11. [**新しい StartupClass のコンフィグレーション**] を選択します。
[コンフィグレーション] タブがアクティブになります。
12. [**名前**] を入力します。
例 : MyWTCStartup Class
13. [**クラス名**] に `weblogic.wtc.gwt.WTCStartup` と入力します。
14. [**引数**] を入力します。2 つ以上の引数を使用する場合は、それらをカンマで区切ります。有効な引数は次のとおりです。
BDMCONFIG: この必須引数は、WebLogic Tuxedo コネクタの XML コンフィグレーション ファイルの場所を指定します。
例 : `BDMCONFIG=.\config\mydomain\wtc_config.xml`
 - TraceLevel: この省略可能な引数は、使用するエラー追跡のレベルを指定します。

例 :

```
BDMCONFIG=.\config\mydomain\wtc_config.xml,TraceLevel=100000
```

15. [**失敗したらサーバを起動しない**] をチェックします。
 16. [**作成**] をクリックします。
 17. [**対象**] タブを選択します。
 18. [**選択可**] リストから、**myserver** をクリックします。
myserver が強調表示されます。
 19. 右矢印ボタンをクリックします。
myserver が [**選択済み**] サーバ リストに表示されます。
 20. [**適用**] をクリックします。
 21. [**起動と停止**] ブランチを右クリックします。
 22. [**新しい ShutdownClass のコンフィグレーション**] を選択します。
 23. [**名前**] を入力します。
例 : MyWTCSHUTDOWN Class
 24. [**クラス名**] に `weblogic.wtc.gwt.WTCSHUTDOWN` と入力します。
 25. [**作成**] をクリックします。
 26. WebLogic Server を再起動します。
- これで、WebLogic Tuxedo コネクタが **myserver** にインストールされました。

